

午 後

問 題

◎指示があるまで開かないでください。

◎午後の試験問題数は 64 問で、解答時間は 1 時間 55 分です。

医学一般

問題 57 体表面から触れることができない動脈として、正しいものを一つ選びなさい。

- 1 頸動脈
- 2 上腕動脈
- 3 とう骨動脈
- 4 腕頭動脈
- 5 後脛骨動脈

問題 58 過剰摂取により血圧を上昇させるものとして、正しいものを一つ選びなさい。

- 1 カルシウム
- 2 鉄
- 3 ナトリウム
- 4 カリウム
- 5 マグネシウム

問題 59 脳血管疾患 (cerebrovascular disease) に関する次の記述のうち、誤っているものを一つ選びなさい。

- 1 日本の三大死因の一つである。
- 2 要介護状態の原因疾患として最も多い。
- 3 脳卒中 (stroke) には、脳梗塞 (cerebral infarction), 脳出血 (Cerebral hemorrhage), くも膜下出血 (subarachnoid hemorrhage) が含まれる。
- 4 脳梗塞の症状として、激しい頭痛が特徴的である。
- 5 心原性脳塞栓 (cardiogenic cerebral embolism) の再発予防にワルファリンが用いられる。

問題 60 胃・十二指腸潰瘍 (gastroduodenal ulcer) の発症に関連が深い病原体として、正しいものを一つ選びなさい。

- 1 ヘリコバクター・ピロリ
- 2 カンピロバクター・ジェジュニ
- 3 腸炎ビブリオ
- 4 ノロウイルス
- 5 A型肝炎ウイルス

問題 61 日本における肝硬変 (liver cirrhosis) の原因として、最も多いものを一つ選びなさい。

- 1 アルコール性肝炎 (alcoholic hepatitis)
- 2 薬洲生肝炎 (drug-induced hepatitis)
- 3 胆汁うっ滞性肝炎 (cholestatic hepatitis)
- 4 B型肝炎 (hepatitisB)
- 5 C型肝炎 (hepatitisC)

問題 62 急性膀胱炎 (acute cystitis) の症状として、通常見られないものを一つ選びなさい。

- 1 頻尿
- 2 発熱
- 3 尿混濁
- 4 排尿痛
- 5 細菌尿

問題 63 肥満に直接関連する病態として、正しいものを一つ選びなさい。

- 1 うつ病 (depression)
- 2 高中性脂肪血症 (hypertriglyceridemia)
- 3 B型肝炎
- 4 気管支喘息 (bronchial asthma)
- 5 骨粗鬆症 (osteoporosis)

問題 64 約 1 か月間の血糖のコントロール状態を示す指標として、正しいものを一つ選びなさい。

- 1 空腹時血糖値
- 2 血中インスリン値
- 3 血中コレステロール値
- 4 血中ヘモグロビン A_{1c} 値
- 5 食後 2 時間血糖値

問題 65 骨粗鬆症の特徴として、誤っているものを一つ選びなさい。

- 1 骨量が増加する。
- 2 低身長化がみられる。
- 3 骨折しやすい。
- 4 脊柱の変形がみられる。
- 5 高齢者に多い。

問題 66 高齢者の感覚器障害に関する次の記述のうち、正しいものを一つ選びなさい。

- 1 白内障 (cataract) では、限圧が上昇する。
- 2 加齢黄斑変性症 (age-related macular degeneration) は、手術で治癒する。
- 3 網膜中心動脈閉塞症 (central retinal artery occlusion) では、突発的に視力が低下する。
- 4 老人性難聴 (presbycusis) では、特に低音域の聴力が低下する。
- 5 味覚障害により、苦味を強く感じる。

問題 67 有床診療所に関する次の記述のうち、正しいものを一つ選びなさい。

- 1 医師又は歯科医師でない者は管理者になることはできない。
- 2 10 床以上の入院設備を有することはできない。
- 3 入院は 48 時間以内が原則である。
- 4 開設には厚生労働大臣の許可が必要である。
- 5 複数の診療科を標榜することはできない。

問題 68 在宅医療に関する次の記述のうち、正しいものを一つ選びなさい。

- 1 主治医は「地域医療支援病院」の医師でなければならない。
- 2 保健所は在宅で療養する患者の個別支援を行うことはない。
- 3 静脈注射は医師でなければ行えない。
- 4 在宅での緩和ケアは保険診療の対象外である。
- 5 24 時間対応可能な在宅療養支援診療所が制度化されている。

精神保健

問題 69 日本の自殺に関する次の記述のうち、正しいものを一つ選びなさい。

- 1 電話相談サービスは存在しない。
- 2 年間自殺者は1998年から1万人程度で推移している。
- 3 ここ数年は、中年女性の自殺者数の増加が著しい。
- 4 自殺者の90%はうつ病 (depression) に罹患している。
- 5 男性では20歳代より50歳代の自殺率が高い。

問題 70 小児の精神疾患 (mental disease) に関する次の記述のうち、正しいものを一つ選びなさい。

- 1 小児自閉症 (childhood autism) では興味の限局 (こだわり) は見られない。
- 2 学習障害 (learning disorder) では全般的な知的発達に遅れが見られる。
- 3 チック障害 (tic disorder) は女児よりも男児に多い。
- 4 知的障害 (精神遅滞) (mental retardation) は知能指数50未満を指す。
- 5 多動性障害 (hyperkinetic disorder) は7歳以下では発症しない。

問題 71 せん妄 (delirium) と比較した場合、認知症 (dementia) の特徴として、正しいものを一つ選びなさい。

- 1 発症が急激である。
- 2 症状が可逆的である。
- 3 意識が清明である。
- 4 薬剤が誘因となる。
- 5 夜間に悪化する。

問題 72 精神保健福祉制度に関する次の記述のうち、正しいものを一つ選びなさい。

- 1 措置入院患者の入院時には2人以上の精神保健指定医の診察を必要とする。
- 2 障害者自立支援法における精神通院医療の利用者負担率は30%である。
- 3 「医療観察法」による入院の決定は検察官と精神科医各1名による合議体で行う。
- 4 措置入院患者等の適正医療を審査する精神医療審査会は保健所に設置されている。
- 5 応急入院では保護者の同意なしに1週間を限度に入院させることができる。

(性)「医療観察法」とは、「心神喪失等の状態で重大な他害行為を行った者の医療及び観察等に関する法律」のことである。

介護概論

問題 73 介護場面での「尊厳の保持」に関する次の記述のうち、適切なものを一つ選びなさい。

- 1 認知症（dementia）のある利用者の場合、家族の意思決定を優先する。
- 2 嫌いな食べ物がある利用者の場合、好きな食べ物と一緒に混ぜる。
- 3 居室で排泄介助が必要な利用者の場合、カーテンを閉める。
- 4 何度も同じことを言う利用者の場合、「前にも聞きました」と対応する。
- 5 車いすから立ち上がることが多い利用者の場合、Y字帯を着ける。

問題 74 高齢者の疾患に関する特徴として、適切なものを一つ選びなさい。

- 1 個人差は小さい。
- 2 薬の副作用は出にくい。
- 3 合併症は起こりにくい。
- 4 老化と疾病の区別は難しい。
- 5 症状は定型的である。

問題 75 介護過程に関する次の記述のうち、適切でないものを一つ選びなさい。

- 1 情報は、多角的な視点で収集する。
- 2 アセスメントでは、利用者の生活上の課題を明らかにする。
- 3 目標の設定に当たっては、一人一人の生活習慣や価値観を尊重する。
- 4 実行可能な介護計画を立案する。
- 5 利用者の状況が変わっても、当初の目標を達成するまで計画を継続する。

問題 76 87歳の夫が85歳の妻を介護している。夫は「できる限り妻の介護は自分でしたい」と言っている。初めて訪問した訪問介護員の対応として、適切なものを一つ選びなさい。

- 1 「最期まで頑張りましょう」と夫を励ました。
- 2 間違ったやり方はその場で指摘した。
- 3 夫婦の口論を聞いて夫の味方をした。
- 4 夫の介護方法を尊重した。
- 5 妻の施設入所を勧めた。

問題 77 介護現場における各職種の役割として、誤っているものを一つ選びなさい。

- 1 管理栄養士がサービス担当者会議を招集した。
- 2 理学療法士が筋力測定をした。
- 3 看護師が服薬指導をした。
- 4 介護支援専門員が居宅サービス計画を作成した。
- 5 言語聴覚士が嚥下^{えんげ}訓練を行った。

問題 78 「介護老人保健施設の運営基準」に示されているものとして、正しいものを一つ選びなさい。

- 1 要支援の人に対する介護予防を目指す。
- 2 居宅生活への復帰を目指す。
- 3 短期入所生活介護を行う。
- 4 急性期リハビリテーションを行う。
- 5 長期の療養を必要とする人に日常生活の介護を行う。

(注)「介護老人保健施設の運営基準」とは、「介護老人保健施設の人員、施設及び設備並びに運営に関する基準」のことである。

問題 79 インフルエンザ (influenza) の感染予防として、適切でないものを一つ選びなさい。

- 1 手洗いを励行する。
- 2 うがいを励行する。
- 3 部屋の湿度を 20%に保つ。
- 4 睡眠・休養をとる。
- 5 予防接種を受ける。

問題 80 介護場面での事故に関する次の記述のうち、適切なものを一つ選びなさい。

- 1 どんな状況下でも身体拘束は禁止されている。
- 2 事故が起きても、家族には知らせなくて良い。
- 3 事故が発生した場合の報告は都道府県知事に行う。
- 4 予防マニュアルに従えば事故は起きない。
- 5 予防のため、過去の「ヒヤリ・ハット」事例を参考にする。

介護技術

問題 81 「開かれた質問」として、適切なものを一つ選びなさい。

- 1 「散歩に行きますか、それとも買い物ですか」
- 2 「気掛かりなことはなんですか」
- 3 「お部屋の明るさはちょうどいいですか」
- 4 「お生まれになったのはどこの県ですか」
- 5 「ご気分は良くなりましたか」

問題 82 利用者の健康状態の確認として、適切でないものを一つ選びなさい。

- 1 嘔吐おうとしたので、頭痛はないか聞いた。
- 2 口腔内くわうが乾燥していたので、水分の摂取量を聞いた。
- 3 下肢に皮下出血があるので、打撲の有無を確認した。
- 4 日中うとうととしているので、呼びかけによる反応を見た。
- 5 排尿時の痛みを訴えたので、食欲の有無を聞いた。

問題 83 一人暮らしの E さん（80 歳）は、屋内は伝い歩きをし、調理はいすに座って行っている。E さんの台所の環境整備として、最も適切なものを一つ選びなさい。

- 1 調理台周辺に部分敷きのマットを敷く。
- 2 床材は滑りにくいものにする。
- 3 調理台は高めにする。
- 4 シンクは深めにする。
- 5 調理台と食卓の間は広く空ける。

問題 84 介護保険制度で貸与又は購入できる福祉用具として、正しいものを一つ選びなさい。

- 1 認知症老人徘徊はいかい感知機器
- 2 ストマ用装具
- 3 義肢
- 4 補聴器
- 5 重度障害者用意思伝達装置

問題 85 歩行補助具の使用法として、正しいものを一つ選びなさい。

- 1 松葉づえは、腋窩^{えきか}で体重を支える。
- 2 歩行器型つえは、肘^{ひじ}で体重を支える。
- 3 四脚つえは、握りをへその高さに調整する。
- 4 T字つえは、肘関節の屈曲が 30 度程度になるよう長さを調整する。
- 5 ロフストランド・クラッチは、肘を 90 度に曲げて使用する。

問題 86 老化に伴う身体機能の変化とそれに合わせた食事の支援に関する次の組み合わせのうち、適切なものを一つ選びなさい。

- 1 唾液分泌量の低下—————食事の前に口腔内を水分で湿らせる
- 2 視力の低下—————主食の上に副食を乗せる
- 3 味覚の低下—————塩味を強くする
- 4 嚥下^{えんげ}反射の低下—————顎^{あご}を上げる姿勢で飲み込む
- 5 腸^{ぜんどう}の蠕道運動の低下—————食事の量を減らす

問題 87 女性がベッド上で差し込み便器を使用して排尿を行う際の支援として、適切でないものを一つ選びなさい。

- 1 上体を少し起こす。
- 2 下着^{ひざ}を膝まで下ろす。
- 3 膝を伸ばす。
- 4 トイレットペーパーを陰部に当てる。
- 5 下半身に掛けるものをかける。

問題 88 全身浴は半身浴と比較して循環機能に負担がかかる。その理由として、正しいものを一つ選びなさい。

- 1 発汗作用
- 2 温熱作用
- 3 精神鎮静作用
- 4 静水圧作用
- 5 浮力作用

問題 89 温罨法^{おんあん}の作用として、正しいものを一つ選びなさい。

- 1 新陳代謝を抑制する。
- 2 局所の血管が収縮する。
- 3 交感神経を刺激する。
- 4 平滑筋が緊張する。
- 5 知覚神経の興奮を抑える。

問題 90 緊急時の応急手当として、適切なものを一つ選びなさい。

- 1 外傷性出血がある場合は、出血部位を清潔なガーゼで圧迫する。
- 2 倒れている人が呼吸していない場合は、すぐに回復体位をとらせる。
- 3 骨折した場合は、患部を心臓より低くする。
- 4 塩素系漂白剤を飲み込んだ場合は、すぐに吐かせる。
- 5 心肺蘇生^{そせい}する場合は、心臓マッサージ 50 回に人工呼吸 1 回の割合で行う。

問題 91 介護記録に関する記述として、適切でないものを一つ選びなさい。

- 1 文章は正確・簡潔に書く。
- 2 事実と解釈を区別して記録する。
- 3 日々の記録は行間を空けずに記録する。
- 4 利用者が読んでも理解できる記録を心がける。
- 5 指示されて行った事項は指示者に記載を依頼する。

(介護技術・例題 1)

次の事例を読んで、問題 92 から問題 94 までについて答えなさい。

[事例]

P 市に住む F さん（85 歳，男性，要介護 1）は，下肢の筋力が低下し歩行に支障があり，室内の家具を使って伝い歩きをしている。調理と掃除の訪問介護サービスを週 2 回利用している。F さんは知的障害のある娘（48 歳）と二人暮らしであり，娘は日中，作業所に通っている。今回の訪問時にソファで横になって動こうとしない F さんに声をかけたところ「最近，浴室で転んだ」と話した。きれい好きな F さんであったが，髪は汚れひげも伸びていた。F さんは前回の訪問時と同じシャツを着ており，洗濯かごには娘の衣類が入っていた。また，ソファの下に湿布や鎮痛剤の薬の袋が落ちていた。

問題 92 現時点での F さんの生活をアセスメントする際に，優先されるものを一つ選びなさい。

- 1 洗濯の状況
- 2 入浴の状況
- 3 転倒の状況
- 4 睡眠の状況
- 5 娘の状況

問題 93 F さんの状況を把握した訪問介護員の行動として，適切なものを一つ選びなさい。

- 1 介護支援専門員の訪問を待つように伝えた。
- 2 訪問介護サービスの「調理」を「入浴」に変更した。
- 3 事業所のサービス提供責任者に報告した。
- 4 介護内容の変更を P 市役所に依頼した。
- 5 娘に家事を手伝うように指導した。

問題 94 数日後、回復した F さんは「自宅で入浴したい」と伝えてきた。安全に入浴するための助言内容として、適切でないものを一つ選びなさい。

- 1 段差解消には、すのこ等を使用する。
- 2 シャワーチェアを使用する。
- 3 滑らないバスマットを使用する。
- 4 石鹸（けん）をケースに入れて床に置く。
- 5 浴室と洗面所の温度差を少なくする。

(介護技術・例題 2)

次の事例を読んで、問題 95 から問題 97 までについて答えなさい。

[事例]

G さん (95 歳、要介護 5) は妻 (88 歳) と二人暮らしで、5 年前より寝たきりである。ベッドとエアマットの貸与を受け、日常生活は全介助である。G さんは意思表示はでき、G さんと妻の希望で自宅で終末期を過ごし、延命処置はしないという方針である。1 週間ほど前から徐々に意識レベルが低下し、主治医からは「いつ亡くなってもおかしくない状態です」と言われ、訪問介護と訪問看護を毎日受けることとなった。

問題 95 妻は時々、「夫に対して、今の生活で十分なことができているのかしら…」と言うことがある。妻に対する訪問介護員のかかわり方として、適切でないものを一つ選びなさい。

- 1 G さんの清拭^{せいしき}は妻と一緒に行う。
- 2 妻から G さんとの今までの生活について傾聴する。
- 3 妻の悲嘆へのケアは G さんの死後から行う。
- 4 妻の体調^{たいちょう}がどうか観察する。
- 5 妻が何でも相談できるような関係を構築する。

問題 96 妻が「呼吸が止まったらどうしようかと気になって、昨夜は眠れなかった」と言った。この場面での訪問介護員が行う妻への支援として、最も適切なものを一つ選びなさい。

- 1 訪問看護師に頼んで今の状況や対応について説明してもらう。
- 2 「後悔しないように、もっと頑張りましょう」と答える。
- 3 「入院してもらってはどうですか」と提案する。
- 4 「そんな心配はないですよ」と答える。
- 5 主治医に睡眠薬を処方してもらうことを提案する。

問題 97 Gさんは、意識レベルが低下してから、やせが目立ち、呼吸数が減り無呼吸も見られるようになってきた。訪問介護員は訪問介護師と連携体制をとっている。この時期の訪問介護員が行う介護として、適切なものを一つ選びなさい。

- 1 肩の皮膚に発赤が見られたので、一時間毎に体の向きを変えた。
- 2 呼吸が下顎呼吸かがくになったが、様子を見た。
- 3 足にむくみが見られたので、踵かかとの下に小さな円座を当てた。
- 4 口唇が乾燥していたため、ガーゼで湿らせた。
- 5 死期が迫っているので、妻にGさんから離れているよう伝えた。

(介護技術・例題 3)

次の事例を読んで、問題 98 から問題 100 までについて答えなさい。

[事例]

5 年前に介護老人福祉施設に入所した H さん (87 歳, 女性) は, 入所当初は移動には車いすの介助が必要であった。しかし, 現在では車いすを自分で操作して移動し, 何かにつかまれば 2~3 歩は歩行可能で, 移乗と排泄 (せつ) は自立している。H さんは歌が好きで社交的である。最近は視力と下肢の筋力の衰えが目立ち始めた。また, 1 ヶ月前には同じ年で仲の良かった友人が亡くなった。H さんは睡眠薬を服用するようになり, 今日の明け方, 入所後初めて失禁してしまった。H さんは「こんなことになってしまって…」と泣きくずれた。

問題 98 泣いている H さんへの共感的な声かけとして, 最も適切なものを一つ選びなさい。

- 1 「泣くほど大変なことではないですよ」
- 2 「泣きたいほどつらいのですね」
- 3 「みんなが頼りにしていますから頑張りましょう」
- 4 「泣かれると私もつらいです」
- 5 「みなさんも同じですよ」

問題 99 H さんの失禁への支援として, 最も大切なものを一つ選びなさい。

- 1 おむつの使用を勧める。
- 2 水分を控えるように勧める。
- 3 室内にポータブルトイレを置く。
- 4 一人でトイレに行かないよう伝える。
- 5 H さんと一緒に今後の対応を考える。

問題 100 H さんの生活支援として, 適切でないものを一つ選びなさい。

- 1 散歩に誘う。
- 2 足欲を行う。
- 3 ゆっくり話を聴く。
- 4 好きな歌を楽しむよう勧める。
- 5 行事の司会進行を依頼する。

形態別介護技術

問題 101 一日中ベッド上で過ごし、排泄^{せつ}、食事、着替えにおいて介助を要するが、自力で寝返りをうつことができる状態が該当する障害高齢者の日常生活自立度（寝たきり度）として、正しいものを一つ選びなさい。

- 1 ランク J-2
- 2 ランク A-1
- 3 ランク B-2
- 4 ランク C-1
- 5 ランク C-2

問題 102 寝たきり高齢者褥瘡^{じよくそう}（decubitus）予防の体位に関する次の記述のうち、正しいものを一つ選びなさい。

- 1 大転子部への体圧を軽減するために側臥位^がとした。
- 2 仙骨部への体圧を軽減するために仰臥位とした。
- 3 側臥位では、両膝^{ひざ}が接触しないようにした。
- 4 踵部^{しょう}への圧力を軽減するために、仰臥位で足関節を直角に保った。
- 5 車いすに座るときは、股関節^この角度を 45 度になるようにした。

問題 103 認知症(dementia)の中核症状として、正しいものを一つ選びなさい。

- 1 幻覚
- 2 徘徊^{はいかい}
- 3 不潔行為
- 4 見当識障害
- 5 攻撃的言動

問題 104 伝音性難聴(hearing loss)の原因として、正しいものを一つ選びなさい。

- 1 老人性難聴(presbycusis)
- 2 音響外傷(acoustic trauma)
- 3 突発性難聴(sudden hearing loss)
- 4 滲出性中耳炎(serous otitis media)
- 5 ウイルス感染による難聴(hearing loss)

問題 105 感覚性失語症(sensory aphasia)のある人とのコミュニケーションとして、正しいものを一つ選びなさい。

- 1 読話
- 2 触手話
- 3 身振り
- 4 五十音表
- 5 手書き文字 (てのひら書き)

問題 106 変形性膝関節症(knee osteoarthritis)と診断された高齢者の日常生活に関する次の記述のうち、適切なものを一つ選びなさい。

- 1 トイレは和式とする。
- 2 歩行前の準備運動は避ける。
- 3 プール内での歩行は避ける。
- 4 普段の運動として、階段の昇降を行う。
- 5 歩行時はつえをつき、体重を支える。

問題 107 高次脳機能障害(higher brain dysfunction)の症状として、正しいものを一つ選びなさい。

- 1 注意障害
- 2 視覚障害
- 3 構音障害
- 4 聴覚障害
- 5 運動障害

問題 108 埋（植）込式心臓ペースメーカーを装着した人の日常生活の注意点として、正しいものを一つ選びなさい。

- 1 入浴時の水位は埋（植）込部より低くする。
- 2 装着する前からの習慣である腕立て伏せを再開する。
- 3 携帯電話の使用は支障ない。
- 4 脈拍は医療従事者に測ってもらう。
- 5 吃逆（しゃっくり）が続くときは受診する。

問題 109 精神障害(mental disorder)のある人の支援として、最も適切なものを一つ選びなさい。

- 1 「食べ物に毒を入れられた」と訴えたので、「誰が入れたのですか」と聞く。
- 2 気分障害の場合、朝起きられない時は覚醒するまで起こす。
- 3 「薬のせいで調子が悪くなる」と訴えたので、「様子を見ましょう」と話す。
- 4 利用者の言っていることが理解できない場合は、分からなくてもうなずく。
- 5 部屋が掃除されていない場合は、利用者の了解を得て掃除をする。

問題 110 ダウン症候群(Down's syndrome)の特徴として、誤っているものを一つ選びなさい。

- 1 筋緊張低下
- 2 高身長
- 3 運動発達遅滞
- 4 環軸椎不安定
- 5 心疾患(heart disease)

問題 111 知的障害のある人の家族に対する支援として、最も適切なものを一つ選びなさい。

- 1 乳幼児期には、施設入所を勧める。
- 2 乳幼児期には、知的障害のある人の家族同士の情報交換を勧める。
- 3 学童期には、家族が家庭内で自傷行為に対処できるよう指導する。
- 4 学童期には、家族が児の療育・介護に専念できるよう指導する。
- 5 壮年期には、家族とのかかわりを中心とした生活ができるよう支援する。

(形態別介護技術・事例問題 1)

次の事例を読んで、問題 112 から問題 114 までについて答えなさい。

〔事例〕

J さん（72 歳，女性）は活動的で友人と買い物や旅行などによく行っていた。娘（40 歳）は働いているため，J さんは家事全般を引き受けていた。しかし，4 か月前に路上で転倒し大腿（たい）骨頸（けい）部骨折(femoral neck fracture)をした。入院治療を行い退院し，多少は歩くことができるようになったが，要介護 1 と認定され，訪問介護が導入された。退院後の J さんは気力の低下が著しく，家から出ることがなくなったが，友人が毎日 J さんを訪問していた。この頃から J さんはいらいらしやすい，気が焦る，よく眠れないと訴えるようになった。病院受診の結果うつ病(depression)と診断され内服治療が開始された。最近ちょっとしたことをあれこれ心配し，「お腹が痛むから，がん(cancer)ではないかしら…」と言い出した。

問題 112 最近の J さんの症状として，正しいものを一つ選びなさい。

- 1 心気症状
- 2 誇大妄想
- 3 言語新作
- 4 感情失禁
- 5 陰性症状

問題 113 訪問介護員の J さんへの支援として，適切なものを一つ選びなさい。

- 1 病気は良くなる一方だと説明した。
- 2 気分転換のため散歩に誘った。
- 3 朝方には気分が良くなると説明した。
- 4 十分に休養をとるように話し合った。
- 5 一人になれるようにそっとしておいた。

問題 114 うつ病と診断され2か月が経過した。Jさんのいらいらや気が焦るなどの症状も軽減してきたが、ある日訪問すると「消えてしまいたいと思う時があるの」と言った。訪問介護員の対応として、適切なものを一つ選びなさい。

- 1 隣人を訪問するように助言した。
- 2 Jさんの状況について医療職に伝えた。
- 3 簡単な調理を一緒に行った。
- 4 気持ちを明るくもつよう指導した。
- 5 激励の言葉をかけるように娘にメモを残した。

(形態別介護技術・事例問題 2)

次の事例を読んで、問題 115 から問題 117 までについて答えなさい。

[事例]

Kさん（70 歳，女性，要介護 2）は，夫（78 歳）と息子（45 歳 会社員）とで同居している。Kさんは，40 年来関節リウマチ(rheumatoid arthritis)に罹患し薬を服用し，頸椎カラーを装着している。現在，両手・肩・^{また}股・足関節に関節可動域制限があり，手は足先までは届かない。ベッド上では自力で起き上がりはできるが，ベッドからの立ち上がりには介助が必要で，歩行器での歩行が可能である。息子は仕事から帰ると積極的に介護や家事をしてくれる。日中の生活援助は週 3 回の訪問介護員が行い，身体介助は夫が行っていた。最近，夫の左肩に痛みが生じ，訪問介護員に「今までのようにうまく妻の介助ができない」と漏らすようになった。

問題 115 Kさんの日常生活への助言として，適切なものを一つ選びなさい。

- 1 マグカップは柄を持つ。
- 2 ^{まくら}枕は高くする。
- 3 歩行は四脚つえを利用する。
- 4 床の物はしゃがんで拾う。
- 5 ソックスエイドを利用する。

問題 116 Kさんのベッドからの立ち上がりを介助するため，ベッドの端に座ってもらった。

訪問介護員が次に行うこととして，最も適切なものを一つ選びなさい。

- 1 手を介護者の首に回して組んでもらう。
- 2 ベッド柵を強く握ってもらう。
- 3 両足底を床につけてもらい，ベッドの高さを調節する。
- 4 頸部と体幹を十分に前屈してもらう。
- 5 介助用リフターをベッド^{わき}脇に運ぶ。

問題 117 夫に対する訪問介護員の対応として、適切なものを一つ選びなさい。

- 1 「まだ、やればできるから頑張ってください」
- 2 「身体介助は私が代わりましょうか」
- 3 「息子さんに介助してもらうように頼んでください」
- 4 「肩の痛みは、どんどん動かすことで治まりますよ」
- 5 「介助のどのあたりが難しくなったのかを教えてください」

(形態別介護技術・事例問題 3)

次の事例を読んで、問題 118 から問題 120 までについて答えなさい。

[事例]

Lさん(78歳, 男性)は, 脳卒中(stroke)後遺症で左片麻痺^{まひ}と麻痺性構音障害がある。自宅復帰を目的に, つい先日, 病院から介護老人保健施設に入所したところである。妻によるとLさんは若いころから口数が少なく控えめな人だという。

現在, Lさんの発語ははっきり聞き取れない状態である。リハビリ室では言語聴覚士と共に, ゆっくり単語を話す練習をしている。Lさんは普段は穏やかだが妻の面会時に, 顔を真っ赤にして怒っている様子が見られた。その後, 妻が介護従事者に「私が来るといつも夫が怒るんです。つらくて…」と相談に来た。

問題 118 Lさんの状態として, 正しいものを一つ選びなさい。

- 1 舌や声帯などをスムーズに動かすことができない。
- 2 言いたいことを言葉として思い浮かべることができない。
- 3 聞くことができない。
- 4 会話の内容を理解することができない。
- 5 文章を読んで理解することができない。

問題 119 Lさんの食事の支援方法として, 適切なものを一つ選びなさい。

- 1 介助する場合, 左側から介助する。
- 2 スプーンは大きめのものにする。
- 3 喉^{のど}にゴロゴロという音(湿性嘔声^き)がしたら, 食事は一旦中止する。
- 4 嚥下^{えんげ}のペースが遅くなれば, 介助者が介助して食べてもらう。
- 5 好きなテレビ番組を見ながら食べる。

問題 120 妻への返答として, 適切でないものを一つ選びなさい。

- 1 「気にしない方がいいですよ」
- 2 「つらいですね」
- 3 「こちらでしばらく様子を見てみましょう」
- 4 「何か思い当たることがありますか」
- 5 「ご主人を含めて, 3人でゆっくり話しましょうか」